

美しい恐怖。

Lazenec présente
Charlotte Gainsbourg
avec la participation de
Gérard Lanvin
**ANNA
OZ**

Un film de
Eric Rochant

Sami Bouajila Grégory Derangère
Emmanuelle Devos

Produit par Les Productions Lazenec
En coproduction avec Le Studio Canal • France 2 Cinema Lumière Angel Film (Italia) Albena Films (Suisse)
Avec la participation de Canal +, de Eurimages et de Cofimage 7

アナ・オズ

シャルロット・ゲンズブール

ジェラルド・ランヴィン / サミ・ブワジラ / グレゴリー・ドラン / ジェラルド・エマニエル・ドゥヴァイス / ジマ・ディリマ / ジャン・ミシェル・フェット
監督: エリック・ロシャン 脚本: ジェラルド・プラシエ / エリック・ロシャン 製作: アラン・ロカ 撮影: ビエール・ロカ 編集: バスカ・ル・ブレイ
音楽: ステイヴ・トウレ 美術: ティエリー・フランソワ 衣装: クレール・ブライセ 1996年 フランス・イタリア・スイス合作 カラー DOLBY SRDデジタル 1時間38分
配給: GAGA 株式会社・コミュニケーションズ FATHERSCO 提供: 日本コロムビア株式会社

私の知らない もう一人の私。 鏡の中の美しい恐怖。

パリのアパートマンで暮すヒロイン、アンナ・オズは、毎夜、水の都ベニスの豪華な宮殿で別の生活を送るもう一人の自分の夢を見るようになる。その夢は不気味なほど現実的で、やがて夢の力が彼女の存在を脅かすようになる。恐ろしい殺人事件に巻き込まれた恐怖で記憶に空白のあるパリのアンナと、彼女の心が複雑に反映した夢の中のベニスのアンナ。美しい恐怖に彩られ、現実と夢に宙吊りにされた全く新しい・サスペンス・ロマンが誕生した。

夢と現実の境をなくした心の迷宮

「映画であることを忘れ、夢そのものを見ているような目眩を体験して欲しい。」——E.ロシャン
パリのアンナ＝優しい恋人マルクと暮す普通のパリジェンヌ。ベニスのアンナ＝謎の密輸商人マルチェロの庇護のもとで豪華な屋敷に暮す悪夢の女。パリの現実とは、まるで鏡にそっと指を触れたその裏側で歪んだ夢となり、複雑な反映となっている。父親が義眼であった記憶は、夢のベニスでは眼球を密売する悪魔の組織の存在と呼応する。パリで恐ろしい殺人事件を目撃した記憶は、夢に盗まれたように空白である。「これが夢か現実か疑っている?」「目覚めていればそれが現実さ。覚めない限りね・・・」

サスペンスの新世紀を支える スタッフ・キャスト

パリだけで50万人の観客を動員した『愛さずにいられない』('89)で監督デビューしたエリック・ロシャンは、この新作でベテラン脚本家ジェラル・ブラシュと組み、大きな方向転換を果たしている。『リバルジョン／反撥』('65)『袋小路』('66)などロマン・ポンスキーの脚本家として知られるブラシュは、異常心理の世界を描かせたら右に出るものはいない。撮影はR.ブレッソンの『白夜』('71)や『カミーユ・クロデル』('88)などで知られる名手ビエール・ロム。赤を基調にした豪華な夢と、パリのアパートマンの自然光の美しさを対比させ、魅惑的な迷宮を生み出した。シャルロットの共演者には、『私の男』('96)のジェラル・ランヴァン、『そして僕は恋をする』('96)のエマニュエル・ドゥヴォス。

夢幻的な演技の魅惑、 シャルロット・ゲンズブールの変身

'91年にこの世を去った父セルジュ・ゲンズブール、母ジェーン・パーキン。あどけなさとエキセントリックさの不思議な果実、14歳のシャルロットが演じた『なまいきシャルロット』から11年。この『アンナ・オズ』で、彼女は現実と無意識の二人のアンナの人格を変幻自在に、魅惑的に演じわけ、大人の女優へと目覚ましい変貌を遂げた。現実のアンナを食いつぶす悪夢のアンナ、現実への復讐を企む女豹のごとき視線、母パーキンの姿を彷彿とさせるシックなドレスに身を包んだ淑女のたたずまい、そして時折のぞく未だあどけない表情。砕かれた鏡の破片の一枚一枚に異なる人格を宿すかのごとき夢幻的な演技の魅惑。まさに女優シャルロットの演技の集大成である。

アンナ・オズ

1996年／フランス＋イタリア＋スイス合作／カラー／1時間38分
配給：ギャガ・コミュニケーションズ／ファザー・SCI 提供：日本コロムビア株式会社

川合千春(ファッション・モデル)..... 絵画のように美しい映像の中での静かな恐怖が夢の中へと私を誘う。
祐真朋樹(ファッション・エディター).... 幻想的かつ官能的な映像美が、観る者を夢の世界へと誘い込む

絶賛上映中!!

当日：一般¥1,800/学生¥1,500(税込) 連日 12:45 14:50 16:55 19:00
●モーニングショー実施 10:40～ 日・祝を除く7/14(月)～7/25(金)まで 特別割引料金：一般¥1,600/学生¥1,400

CINE VIVANT

シネ・ヴィヴァン・六本木

●自由席定員制・入替制 地下鉄六本木駅下車1番出口WAVE地下1階C3(3403)6061